

《キーワード》 顎口腔機能、咬合・咀嚼、クラウン、検査、治療計画

《担当者名》 越智 守生

【概要】

本コースの目標は、歯冠補綴治療の実践に必要な知識と手技を講義と実習で身につけること、及び指導医の下で臨床経験を積み、治療計画の立案からメインテナンスまでに必要な知識と技術を習得することである。

【学修目標】

1. クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を説明できる。
2. クラウンブリッジ治療と健康科学とのかかわりを説明できる。
3. クラウンブリッジ治療の利益と不利益を説明できる。
4. クラウンブリッジ治療に関連するEBMを説明できる。
5. 各種の咬合検査ができる。
6. 顎機能、咬合の診断ができる。
7. 支台歯の適性を評価できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	クラウンブリッジ治療のための検査 及び治療計画立案のための講義		越智 守生
2	咬合検査のシミュレーションと実践		越智 守生
3	下顎運動検査のシミュレーションと 実践		越智 守生
4	支台歯形成のシミュレーションと実 践		越智 守生
5	支台築造のシミュレーションと実践		越智 守生
6	印象採得の実践		越智 守生
7	咬合採得の実践		越智 守生
8	In vitro 及びIn vivo 研究の相互補完性についての講義		越智 守生
9	症例検討会		越智 守生
10	基礎・臨床研究論文抄読会		越智 守生

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況とレポート

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【学修の準備】

学生はコースの目的を理解して、しっかりと講義などの準備をすること。